MORNINGSTAR®

News Release

22 West Washington Street
Chicago
Illincis 60602

Telephone: +1 312 696-6000
Facsimile: +1 312 696-6009

報道機関の連絡先:

イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社

島田　知保　　電話：03-6826-7096　　メール：shimada@ibbotson.co.jp

プレスリリース

米国モーニングスター、第 4 回グローバル・ファンド・インベスター・エクスペリエンス（GFIE）を発表；日本の総合評価は C-

2015 年 6 月 9 日、東京 発

イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社は、同社の実質親会社にあたる独立系大手投資調査会社の米国モーニングスター（Morningstar, Inc.、 NASDAQ: MORN）が、世界 25 カ国の投資信託市場について、投資家の観点から評価を行ったグローバル・ファンド・インベスター・エクスペリエンス（GFIE）レポートを発表した。同レポートは 2 年に一度発行されており、北米、欧州、アジアおよびアフリカ地域の投資信託市場を評価対象とし、モーニングスターのリサーチャーが、各国の投資信託市場が投資家にとってよい環境であるかという観点で調査したものである。今回の調査結果では韓国と米国の 2 カ国が最も高い評価となり、中国が最も低い評価となった。なお、日本の総合評価は C-であった。

モーニングスターでは、「規制および税制」、「目論見書や運用報告書での情報開示」、「手数料や各種費用」、「販売行為とメディア報道」の 4 項目を評価したうえで各国の総合評価を行っている。好ましい規制がある、投資家の税負担が軽い、情報開示が十分になされている、手数料や費用が安い、販売チャネルが多様、メディアの報道が投資家の意思決定に役立つ情報を多く提供している、これらの条件を満たしている国ほど評価は高い。モーニングスターでは、4 項目それぞれに A から D の格付けを付与した後、個別項目の評価を加重し総合評価を行っている。なお本調査は、各種公開情報、モーニングスターが収集しているデータ、および世界各国に拠点を置くモーニングスターのリサーチャーの見解に基づき行われている。日本ではイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社が本調査に協力した。

イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社代表取締役社長の山口勝業は、「投資家の皆様のファイナンシャル・ゴールを達成する一助となることが、モーニングスターの使命であると考えております。本レポートは、投資家にとってより良い環境をもたらすことを目的としており、投資家にとって最高の環境とはどのようなものか見識を高めるために、世界各国における投資信託保有者の観点から評価を行っています。今回の調査対象のどの市場にも改善の余地は見られます。この調査が投資環境によい変化をもたらす契機となれば幸いです。」とコメントしている。

日本の評価の概要：

- 日本の総合評価はC-となった。特に債券型ファンドの販売手数料や運用費用が他国に比べ高いことが低評価の主な要因となった。また、ノーロード・ファンドや購入時以外に販売手数料を支払うことが出来る投資信託が極めて少ないことも、評価を低める要因となった。なお、前回2013年の総合評価はCであった。
- 規制や税制、情報開示、販売行為とメディア報道については、評価対象国のなかで平均的な結果となった。
- NISAの開始や投資信託法の改正は、規制の項目で着目すべき改善点である。
- 運用報告書の開示ルールが2014年12月に変更されたが、未だ総計費率やファンドマネジャー名の開示が不要な点は改善が必要である。しかし、多くの運用会社がファンドマネジャーの運用経験年数や所属部署などの開示を始めたことは、一歩前進した点であろう。

2015年の各国の総合評価は以下のとおりである。（評価の高い国から低い国へ、同一評価内では、アルファベット順に並んでいる。）

Korea　韓国 : A
United States　米国 : A
The Netherlands　オランダ : A-
Taiwan　台湾 : A-
United Kingdom　英国 : B+
Sweden　スウェーデン : B
Australia　オーストラリア : B-
Denmark　デンマーク : B-
Finland　フィンランド : B-
Norway　ノルウェー : B-
Switzerland　スイス : B-
Canada　カナダ : C+
Germany　ドイツ : C+
India　インド : C+
New Zealand　ニュージーランド: C+
Thailand　タイ : C+
Belgium　ベルギー : C

France　フランス　　: C
Hong Kong　香港　　: C
Singapore　シンガポール　　: C
South Africa　南アフリカ　　: C
Spain　スペイン　　: C
Italy　イタリア　　: C-
Japan　日本　　: C-
*China　中国　　: D+

今年から新たに、モーニングスターでは、「販売行為とメディア報道」にてメディア指標として、世界報道自由度指数（The World Press Freedom Index）を取り入れた。同指数は、国際的な非営利組織である国境なき記者団（Reporters Without Borders）が公表しており、180カ国における報道の自由度を査定した年次の指標である。また、「目論見書や報告書での情報開示」における保有銘柄情報の開示頻度に関して、定量的な分析を追加した。なお、今回のレポートで初めてフィンランドを調査対象国とした。

2015年のレポートにおける主なポイント：

- 韓国は販売チャネルの多様化により前回2013年のB+から格上げとなるA評価を獲得した。米国以外に最高ランクのA評価を獲得したのは韓国のみである。
- 米国は最高ランクとなるA評価を4回連続で獲得した。他国に比べ低い費用や情報開示が充実している一方、「販売行為とメディア報道」に関しては平均的な評価である。
- オランダは2013年のBから格上げされA-となった。アドバイザーが販売手数料を徴収することが禁止されたことから、「販売手数料と運用報酬」および「販売行為とメディア報道」に関する評価が高まった。
- フィンランドは平均的な評価であるB-となった。欧州地域の規制と一貫性があることが評価された。
- 中国はD+と最も低い評価なった。高い手数料・費用、海外投資への制限、外国籍ファンドへの制限などが理由である。*
- 前回の2013年の調査以来、ニュージーランドでは保有銘柄の開示が当局により年2回となった。タイでは、現行年2回の開示を四半期にする計画がある。なお、オーストラリアが保有銘柄の開示が不要な唯一の国である。世界的には、投資信託業界は規制当局より率先する傾向があり、保有銘柄の開示を月次で行うことが一般的になりつつある。
- 過去2年間、ほぼ全ての国で規制が新たに制定あるいは更新されている。モーニングスターが本レポートで評価する項目について、各国規制当局が積極的に改善しようと考えていると思われる。

- 米国、オーストラリア、南アフリカ、オランダでは、ファンドの費用は、アンバンドル（運用報酬とそれ以外）となっていることが多く、報告ベースの運用報酬は低くなっている。しかし、投資家がファイナンシャル・アドバイザーへの報酬、および管理プラットフォームの利用料の双方を支払うと、ファンドの保有者の総コストは 1.0～1.5 パーセント増加すると見込まれる。
- 調査を行った 25 カ国中 22 カ国で、投資信託の販売チャネルとして最も多いのは銀行および保険会社であった。7 カ国では、次いで独立のファイナンシャル・アドバイザーが多かった。

モーニングスター・グローバル・ファンド・インベスター・エクスペリエンス（GFIE）の最新版の全文は、以下の URL より入手可能である。なお、モーニングスターでは同レポートを 2009 年より公表している。
http://global.morningstar.com/GFIE2015PressKit.

モーニングスターでは、全世界で 100 名を越えるマネジャーリサーチのアナリストが、約 4,100 本のファンドの分析を行っている。また、2015 年 3 月 31 日時点で、約 186,500 の投資信託、9,800 のクローズドエンド型ファンド、11,300 の上場投資商品のデータを提供している。

*編集者注：2013 年発行のレポートで、中国のファンド評価時にモーニングスターが用いた費用データに誤りがあった。2015 年のレポートではこの点を修正し、中国の「販売手数料と運用報酬」の評価を引き下げた。この点が中国の総合評価が B-から D+に格下げの主な要因である。

モーニングスター、およびイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社について
イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社は、モーニングスターの子会社である。モーニングスターは独立系大手投資調査会社で、北米、欧州、オーストラリア、アジアの 27 カ国で拠点を展開している。同社は、個人投資家、ファイナンシャル・アドバイザー、機関投資家、年金プロバイダーや年金スポンサーなどに対してさまざまなプロダクトやサービスを提供している。同社が提供している約 500,000 系列の金融商品のデータは株式、投資信託およびその他の投資関連商品や指数を網羅しており、加えてリアルタイム配信する世界各国の市場データとして、外国為替や米国債市場のほか、株式、指数、先物、オプション、コモディティ、貴金属など 1,500 万以上の系列を有している。モーニングスターは、投資顧問登録を持つ傘下の子会社をつうじて、資産運用ソリューションを提供しており、2015 年 3 月 31 日現在の助言・運用残高は約 1,790 億ドルである。

# # #

©2015 Morningstar, Inc. All rights reserved.

MORN-R